

スイカでの実験

「スイカは食べられない部分が多くてゴミが増える」と母がグチをこぼしていた。ゴミを減らすことができれば、母の負担が減るのではないかと考えた。

スイカの皮は固くて分解に時間がかかりそうなので、スイカの白い部分だけミニキエーロに入れることにした。

スイカのゴミを白い部分と硬い皮に分け、白い部分のみミニキエーロに入れた。



結果（すいか）

5日後には完全に無くなっていた



気づいたこと

普段だったらすべてを燃えるゴミとして捨てていたが、スイカの白い部分をミニキエーロで処分できたため、硬い皮のみ燃えるゴミとして出すことになった。

つまり、2208g燃えるゴミの量を減らすことができた。

② しんきゅうの目つき

どの生ごみが一番なくなりやすいか。

よそう

- ① たまねぎのかわ → うすいから。
- ② キウイのかわ → やわらかいから。
- ③ しょうがのかわ → すこしかたいけれどうすいから。
- ④ たまごのから → 市やく所でたまごのからや、ほねなどがなくなりにくいとおそわれたから。

③-① 用意する牛勿

1. たまねぎのかわ



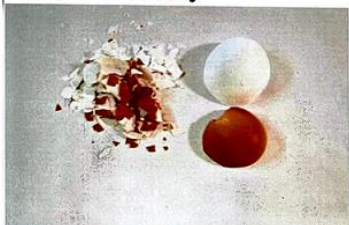
2. キウイのかわ



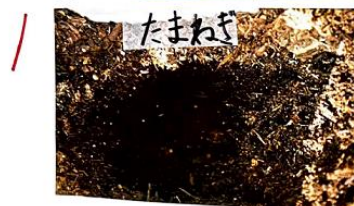
3. しょうがのかわ



4. たまごのから



④ しつか(土にかえたぶん番) 10日後



⑤ 考えつ

たまねぎ → 葉

しょうが → くき

キウイ → み

たまご → とりのたまご

生き牛勿からできたものよりむしろ
にできた牛勿のほうがなくなりやすい。

⑥ 反せい・感そう

び生牛勿が土の中にあることがわかった。
もっと細かくしたほうがび生牛勿もきっと
早く分かってきていると思うので次からは
そうしたい。